



西条ロータリークラブ



2025～2026年度
国際ロータリー会長の
メッセージ

よいことの
ために
手を取りあおう

例会日：毎週金曜日 12：30

例会場・事務局

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8

西条商工会議所内

TEL(0897)56-3989 FAX(0897)53-2800

E-mail saijo-rc@galaxy.ocn.ne.jp

会長：矢野公俊 幹事：伊藤忠蔵 公共イメージ委員会：白木秀典

2025-2026年度 西条RCスローガン
「Enjoy Rotary」(ロータリーを楽しもう)

第 3008 回 例会記録 №2723 2025年 8月 8日(金)

プログラム

内部卓話 高橋彰会員

●紹介 高橋彰

◆お花ご持参 矢野会長； センジュギク、ジニア、
センニチコウ

●幹事報告

1. 配付物
- ◆第3007回週報
- ◆8/1定例理事会議事録

2. 受信物

◆ガバナー事務所より

○RID2670ガバナー月信8月号

○RID2670会員増強・新クラブ結成推進月間リソースのご案内

◆ロータリー日本財団より

○寄付金送金明細書の自動受け取り返信(クラブ年次寄付) ・三好和彦……年間皆勤賞ありがとうございます。

・伊藤史郎……遅刻。

◆新居浜ロータリークラブより

○米山奨学生卓話について返信

◆公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より

○米山月間資料送付先の確認

◆委員会支援事務所 米山記念奨学会より

○9/13愛媛分区分米山協議会登録用紙の受取連絡

3. 例会変更

新居浜南RC 9/9(火) 観月夜間例会

4. お知らせ

◆次週8/15(金)は休会(祝日週)です。商工会議所も休館です。

次回例会は8/22(金)、例会プログラムは「米山奨学生卓話」です。

◆10/24(金)～25(土)に開催される地区大会の出欠は8/22(金)、登録料は9/5(金)がクラブ内締切です。

◆8/12(火)事務局お休みです。

●出席報告 高橋彰

総人数 28名(内出席規定免除 2名)

出席会員 14名(内出席規定免除 0名)

欠席会員 14名(内出席規定免除 2名)

☆《前々回 7/ 18修正出席率・・・ 88.89% 》

☆ 前々回のメイクアップ

三好和彦・・・7/26ワールド大阪ロータリーEクラブ

日野知則・・・7/4定例理事会

¥3,000
累計 ¥130,000

2024-2025年度出席表彰



次回 8月29日(金) 短期交換学生帰国報告夜間例会 伊藤千尋様、塩出優真様

内部卓話

高橋彰会員



高橋彰会員



当行の沿革

2025年9月16日、愛媛銀行は創業110周年を迎えます。当行は1915年(大正4年)の創業以来、時代の変化に柔軟に対応しながら、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。この節目にあたり、本稿ではこれまでの歩み振り返ります。

1915年(大正4年)創業 一無尽業からの出発

愛媛銀行のルーツは、1915年に設立された「東隆無尽株式会社」です。当時、地城の人々が資金を融通し合う仕組みとして無尽業が広く活用されており、当行もこの仕組みを通じて地域の金融ニーズに応えてきました。その後、地域の金融ニーズの高まりを受け、無尽業の枠を超えた金融機関の発展が求められるようになりました。

1943年(昭和18年)愛媛無尽株式会社設立

戦時中の金融統制により、県内の無尽会社5社が合併し、「愛媛無尽株式会社」が誕生しました。戦後の復興期には、地城経済の再建を支える役割を果たし、個人・企業向けの金融サービスを拡充してまいりました。

1951年(昭和26年)相互銀行へ転換

相互銀行法の施行に伴い、「株式会社愛媛相互銀行」へ商号を変更しました。これにより、預金・貸出業務が拡充され、地城金融機関としての機能が強化されました。高度経済成長期には、中小企業の成長支援や住宅ローンの拡充を進め、地城経済の発展を支える重要な役割を果たしました。

2025年(令和7年)創業110周年と新たな挑戦

創業110周年を迎えた当行は、地城経済のさらなる発展に向け、新たな戦略を展開しています。その一環として、金融機関の枠を超えた広域連携の強化にも取り組んでいます。例えば、西瀬が地域の経済活性化を目的としたパートナーシップ協定を締結し、地城社会の課題解決、スタートアップ支援、地城企業の成長支援など、多面的な連携を進めています。また、地城商社を活用した公民連携の取組みも推進し、地方の魅力ある商品の流通支援、販路拡大、地城資源を活かした新規ビジネスの創出にも取り組んでいます。第18次中期経営計画「変革への挑戦 3rd Stage」のもと、これからもお客さまに寄り添い、地城の発展に貢献してまいります。

愛媛銀行の歩み

愛媛銀行は、これからも「地城とともに歩む銀行」として、新たな価値創造に挑戦し、地域の皆さまとともに、新たな未来を創造してまいります。

1989年(平成元年)普通銀行へ転換、株式会社愛媛銀行の誕生

金融制度の変革を受け、普通銀行へ転換し、「株式会社愛媛銀行」として新たなスタートを切りました。これにより、法人向け融資、貸付運用、外貨預金などの多様な金融商品・サービスの提供が可能となり、地城により密着した総合金融機関へと発展しました。

2000年代 地域活性化と新サービスの展開

2000年代に入ると、金融業界は大きな変革を迎えました。当行もインターネットバンキングの導入やキャッシュレス決済の普及推進など、デジタル化に対応した金融サービスの提供を強化しました。また、地域活性化の観点から、各種ファンドを活用した地元企業の成長支援や地方創生プロジェクトにも積極的に取り組みました。

2020年代 デジタル化とサステナビリティへの対応

近年、金融業界ではデジタル化が急速に進化しています。当行もオンラインサービスの強化やスマートフォンアプリの機能拡充、AIを活用した金融相談サービスの提供などを進めるとともに、フィンテック企業との連携を深め、利便性の高い金融サービスの提供を目指しています。また、ESG(環境・社会・ガバナンス)経営の推進により、地城社会の持続可能な発展を支援する取組みを強化しています。サステナブルファイナンスの提供や、地城の防災減災支援にも積極的に取り組んでいます。

何者なんだ、HandyBank?

銀行を、もっと近くに

HandyBank

口座開設は、ひめぎんアプリでも、セブン銀行ATMでも。

愛媛銀行